

平成23年度事業シート(概要説明書)《※平成22年度実施事業》

事業の概要	事務事業名	水防訓練実施事業						担当部	消防本部			
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	防災課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降			担当係	防災係		
	総合計画 分野別計画	主目的	1 市民生活		4 防災		1 防災意識を高める					
		副目的										
	予算区分	款	9	項	1	目	4	大	3	中	1	
	根拠法令・個別計画	小牧市地域防災計画										
	実施・運営 方法	<input type="radio"/> 市が直接実施・運営				地域住民組織		<input type="radio"/> 一部又は全部委託				
				指定管理・外郭団体		名称:						
				NPO・その他		名称:						
目的 (対象をどの様な状態にするのか)	台風や洪水期に備え、関係機関の協力を得て、地域の河川状況を勘案した水防訓練を実施し、水害による被害の軽減を図る。											
内容 (手段)	<p>水防活動に必要な各工法(積土俵・板柵土留・改良積土俵・都市型水防・1トン土のうによる破堤復旧等)技術と知識の向上を図るための実践的な訓練を企画し、参加機関への訓練参加依頼と連絡調整、市職員を対象に事前説明会を実施。災害協定土木事業所(30社)、災害ボランティア及び市内の各地区自主防災会、婦人消防クラブ員の58名に参加していただき、災害時の連携強化を図った。あわせて、全区長・自主防災会会長・婦人消防クラブ会長などに訓練を見学してもらい、水防に対する意識を高めてもらうよう、案内を送った。</p> <p>H22の実施場所は上末地区内・三菱重工業(株)名古屋誘導推進システム製作所上末駐車場で開催。</p> <p>主な委託内容は、除草作業委託、機材借上代(テント、イス、机など設営機材)。</p>											
受益者負担	無	内容										

			単位	H21決算額	H22決算額	H23予算額
	コスト	直接経費		千円	1,483	856
正職員		従事者数	人	0.15	0.15	0.15
		人件費	千円	804	804	804
その他職員		従事者数	人	0.00	0.00	0.00
		人件費	千円	0	0	0
費用合計		千円	2,287	1,660	2,712	
対前年比		%		72.5		
財源	一般財源		千円	2,287	1,660	2,712
	国・県支出金		千円	0	0	0
	その他財源		千円	0	0	0

業 績	活動指標	活動指標名	単位		H21	H22	H23	
		水防訓練実施回数	回	目標		1	1	1
				実績		1	1	
				目標				
				実績				
				目標				
	実績							
	成果指標	成果指標名	単位		H21	H22	H23	
		水防訓練参加者数	人	目標	460	470	480	
				実績	460	470		
			目標					
			実績					

事業の自己評価 (一次評価)	事業目的の達成状況	活動指標、成果指標に掲げた目標のとおり実施できた。 小牧市地域防災計画に基づき、台風や洪水期における水防活動の円滑な遂行をはかるため、出水期前に訓練を実施することで、訓練参加者には各水防工法の知識と技術の向上が得られる。				
	事業を廃止・休止したときの影響	市民の生命と財産の保全を脅かすこととなり、防災意識への啓発を行う機会が失われてしまう。 また、市職員にとっては日常、工法技術を学習することがないため、訓練を行うことで実際の水害が起きた場合に対応できるよう図らなければならない。				
	判定	B	市が実施(改善が必要)			
	判定理由	水防訓練実施に向けての、訓練現場周辺の駐車場確保や資機材の準備、後片付けへの職員負担は重なっている。また、参加する市職員は各部課からの割り当てで参加しているため、全部の職員が技術取得につながっていない。				
	今後の事業の方向性 (今後の取組み・改善計画等)	土のう作成はじめ、資機材工具を扱う基礎的な工法技術の習得を目的とした訓練を隔年での実施を検討していく。また、別の機会で行っている風水害図上訓練を主訓練とし、実災害を想定に、初動体制の確立や情報・伝達機能の強化をはかっていくことを検討したい。				

二次評価	判定	B	市が実施(改善が必要)			
	判定理由	一次評価のとおり				